

「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」ニュース 48

発行：「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 広報委員会
〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階
TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180
E-Mail esm-hq@eco-texj.co.jp

初夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

研究フォーラム・ニュース 48 号を配信させていただきます。

5 月 17 日月曜・第 8 回国際フォーラム 2010 が開催されました

6 月 3 日 東京吉岡株式会社が CSM 2000 導入認証取得されました。

7 月 9 日金曜 第 43 回フォーラムセミナーが開催されます。

< 第 8 回国際フォーラム 2010 開催 >

第 8 回「CSR & コンプライアンス国際フォーラム 2010」が開催されました。

◆ 開催日時 平成 22 年 5 月 17 日 (月)

午後 1 時 30 分 - 午後 5 時 15 分

◆ 会場 江戸東京博物館 1F 会議室

◆ 参加人員 92 人

2010 年 5 月 17 日江戸東京博物館会議室にて第 8 回 CSR&コンプライアンス国際フォーラム 2010 が開催されました。今回は「グローバル・サプライチェーン・マネジメントの検証」をテーマに、繊維製品における有害物質の管理、CSR、企業行動規範の取り組みなど、最新事例を含む情報が講演されました。

プログラムに先立ちまして、CSR&コンプライアンス研究フォーラム会長で法政大学大学院教授である岡本義行氏から、「無縁社会とも言われるようになった今日、どうやって人間関係を構築していくのか、と言うことが議論されている。企業も個人も社会的位置づけを求めており、コンプライアンスや CSR に取り組むことで我々の絆を深めていきたい」と述べられました。



続いて毎回講演している 3-P of Institute for sustainable Management、CEO のウイリーボイド氏による「グローバル・サプライチェーン・マネジメントの検証と普及活動・最新事例」が紹介されました。「最近よく取り上げられる"カーボンフットプリント"はサプライチェーンの中で潜在的 CO2 削減のポイントを発見する為のツールとはなるが、ドイツの最近の研究結果によると、地球温暖化の回避・削減に導く指標とはならず、消費者に与える会社のイメージを良くする効果に留まる。安全性や環境保護、CSR に則った製造、情報開示など消費者の真の要求にどのように応えるか、これからは透明性・トレーサビリティ・信頼をキーポイントに QR コードなどを利用した消費者目線のパフォーマンスマネジメントが必要」との説明でした。



次にエコテック・ジャパン代表の近藤繁樹氏による「サプライチェーンに於ける安心・安全・信頼モニタリング」ではこれまでに各方面で講演された内容を元に、法令遵守を前提とした持続可能な信頼と価値を創り出す方法や手段を最新の情報を踏まえながら講演されました。「世界の現状として EU では、REACH 規制などが前提となり、リコール情報を毎週 WEB に公開するなど(参考「RAPEX」www.rapex)IT・WEB 技術を駆使活用して対応している。日本ではエコモニタリングの基準が不明確で野放図となっている。中国における繊維製品の検査についてとりわけ目立つ動向として、EU への輸出では有害物質などの GB 規格(中国工業規格)で厳しく取り組んでおり、中国国内で売る輸入品に対しては税関検査などで染料や顔料を徹底的に調べるなど、輸入に対する規制の手段としても利用され、今後中国で売る場合にも世界のお客様要求に応えるといった厳しさが生じてくるのでは」と述べました。



プログラムの後半 4 つ目は、イオン株式会社 CoC 事務局長の西面和巳氏に CSR 調達、取引行動規範についての講演をいただきました。「イオンサプライヤーCoC は 2002 年国際基準 SA8000 推進プロジェクトとして活動をスタート。2004 年には国際基準 SA8000 の認証を取得、また国連グローバル・コンパクト(GC)の 10 原則を参考にしてイオンサプライヤーCoC(取引行動規範)を制定し、プライベートブランド TOPVALU のサプライヤーに対しパートナーシップを醸成しつつ、CoC 要求事項の実施状況について監査・認証による管理活動を継続している」との詳しい解説がありました。最後に「国連 GC とは、地球規模の制約に対して民間団体が主体となって環境や雇用労働の問題と一緒に取り組むものである。このジャパンネットワークが 2009 年に 100 団体を超え、サプライチェーン分科会活動などを通して CSR 調達に取り組んでおり、今年度は GC 本部からサプライチェーンに関するガイドラインがまとめられる」との紹介がありました。



プログラムの5つ目として、株式会社エドウィン商事の専務取締役小林道和氏より「日本ジーンズの世界的パフォーマンス構築について」と題して講演をいただきました。小林氏は、「日本人は現場で生産をしている人たちが商いを理解しており美的感覚を持っている。日本でしか出来ないことを活かして物づくりをしていかないといけない」と話され、また、格安ジーンズに関しても、「コスト要求を元に商品が作られ、手抜き、不正、搾取によるコストカットの「改悪」になっているのではないか？消費者も考えなければいけない」と日本のメーカーが取り組むべき課題について語られました。



セミナープログラム終了後、江戸東京博物館内のレストランにて懇親会が開催され、日本アパレル工業技術研究会・清水二郎会長の挨拶と乾杯のあと、多くのご参加の皆様により活発な懇談による情報交換がされました。



東京吉岡株式会社がCSM2000導入認証取得



コンプライアンス&サプライチェーン・マネジメントシステムCSM2000の導入活動に取り組んでこられました東京吉岡株式会社・東京事業本部（事業本部・商品流通センター・プリンティングセンター・クリエイティブセンター）は、6月上旬に第三者機関TUVラインランドジャパンによる認証審査を受け、2010年6月4日付け認証書が発行されました。

同事業所は、日本企業の中国事業所を含め、CSM2000認証取得事業所としては13番目、日本国内事業所としては3番目になります。



すべてのお客様に信頼される企業をめざして！
東京吉岡製品は保証します。CSM2000(包括マネジメントシステム)を基に。



CSM2000
Compliance & Supply Chain Management System 2000
「品質総合監査
マネジメントシステム」
TÜV国際規格認証取得 2010.6.3

「安心・安全」のための重要4項目
●品質への保証 ●環境への対応 ●社会への説明責任 ●安全衛生・健康

前回3月18日の第43回フォーラムセミナーでは同社・CSM2000委員会の会田裕一事務局長からその活動の中間報告がありましたが、その後さらに導入活動を推進し、審査当日は委員会メンバーと各部署の責任者を中心に真摯な審査がすすめられ、審査員から高い評価を受けて認証に至りました。

<第43回 フォーラムセミナー開催のお知らせ>

第43回定期フォーラムセミナーは当初7月8日の予定でしたが、
下記のように日程変更になりました。

日時 2010年7月9日 金曜 14:00~17:00

セミナー終了後 17:00より懇親会

[第43回 セミナー内容]

- | | | |
|----------------------------|------------|-------------|
| 1. ご挨拶 | 事務局長 | 近藤繁樹 |
| 2. 「ファッションとエコ」 | ファッションリンクス | 代表 福永成明氏 |
| 3. 「CSM2000 導入活動～認証取得審査まで」 | ショートレポート | |
| | 東京吉岡株式会社 | 常務取締役 橋本佳也氏 |
| 4. CSR 関連情報等 | 事務局 | 小山洋隆 |

懇親会

17:00~

以上

編集後記

- ・ 5月・国際フォーラム2010での懇親会。昨年度は博物館内のレストラン改装のため開催せず、同じ場所に今年は新たに開店したイタリアンレストランで開催したものの、テーブルが固定式で立食パーティとしては少し勝手が違ったものの賑やかに開催。
- ・ あっという間に6月下旬にはいり、7月9日セミナーの準備に入りました。

HK